

胆膵診療のNew Stage

～新たなスコープ・デバイスとともに切り拓く～

■ 日時・会場

2019年6月1日 [土] 17:45～19:45

グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 第1会場(3F 北辰)

■ 司会

手稲溪仁会病院 消化器病センター

瀧沼 朗生 先生

富山大学 第三内科

安田 一朗 先生

■ 演者

「胆管挿管にどう挑むか。どのように乳頭と対峙すべきか。

～スコープが及ぼす影響と新型デバイスの可能性～」

近畿大学 医学部消化器内科

竹中 完 先生

「What is Global Standard ERCP Scope?」

東京医科大学 臨床医学系消化器内科学分野

土屋 貴愛 先生

「意外と難しい!? 術後再建腸管のERCP」

獨協医科大学 内科学(消化器)

土田 幸平 先生

「どう挑む? Interventional EUS

～当院における治療戦略と実臨床のテクニック～」

東京大学医学部附属病院 光学医療診療部

中井 陽介 先生

■ 特別発言

東邦大学医療センター大森病院 副院長

五十嵐 良典 先生

セミナー終了後、グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール3F 慶雲(第2会場)にて、意見交換会を開催いたします。是非ご参加ください。